

これをも



文化と田舎い、森に響く
ノリタケの森クラフトセンター内
ノリタケミュージアム



ノリタケ



ノリタケは、陶磁器食器で良く知られていますが、その時々々の社会情勢や時代の要請を受けて、陶磁器や食器といった概念にとらわれることなく、様々なものを作ってきました。物資不足の戦時下では、陶磁器が複雑な形状のものを作ることができるという特性を活かし、統制された金属に代わって家庭用品の素材として使用されました。西洋式の生活が急速に進んだ戦後は、製造技術の革新や新素材の開発が進んだこともあって、陶磁器の常識を覆す割れない食器など、世相を反映した製品を作りあげました。また、1960~80年代にかけては、金属やクリスタル、メラミン樹脂、ホーローなど陶磁器以外の素材分野も開拓し、総合食器メーカーとして業界をリードしてきました。こうしてノリタケが手がけた製品の中には、もう今では目にする機会がなくなったモノや、ちょっと風変わりなモノがあります。今回はそんな珍しい製品を集めて展示をしています。これらの製品は、それぞれ作られた背景があります。使われた時代に思いを馳せてご覧賜れば幸甚です。

ノリタケミュージアム

開催日

2013年 9月10日(火)

2014年 9月 7日(日)

場所

ノリタケの森クラフトセンター3階
ノリタケミュージアム(開館時間10時~17時)

休館日

月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)、
年末年始

クラフトセンター入館料

大人及び学生 500円(団体割引有り)
高校生 300円(団体割引有り)
中学生以下の方 無料
障がい者手帳をお持ちの方、
65歳以上の方は証明書の提示により 無料

